

東我孫子中学校



(令和8年5月1日現在)

所在地	〒558-0011 住吉区苅田1-16-2		
電話	06-6698-0001	F A X	06-6698-0541
URL	https://swa.city-osaka.ed.jp/j732664		
校長名	中村 圭一		
生徒数	414名	教職員数	39名
学級数	16学級（うち特別支援学級4）		
標準服	冬：ブレザー 夏：ポロシャツ		

学校概要

本校は、昭和42年5月に我孫子中学校の分校として発足し、昭和48年4月1日に分離独立、大阪市立東我孫子中学校として創立、2022年に創立50周年となり、現在に至っています。卒業生は1万4千人を超えました。開学当時から「ヒガアビ」の愛称で親しまれています。

教育目標

主体的に学び、互いに尊重し合える生徒集団の育成

本校のめざす学校像

- 個を認め、ともに高めあう集団の育成
- 夢や志を高くもち、主体的に取り組む生徒の育成
- 将来をたくましく生き抜く学力・体力・人間力を伸ばす教育活動の推進
- 地域の中の一員としての成長を期待される学校

本校のめざす子ども像

- 積極的に挨拶のできる生徒
- 自ら学ぶ生徒
- 思いやりのある生徒
- 最後まで粘り強く取り組む生徒

校長メッセージ

「主体的に学び、互いに尊重し合える生徒集団の育成」を学校教育目標にかかげ、達成に向けた教育方針として、

1. 自他の人権尊重の精神を実践する態度を育てる
 2. 基礎学力の向上に努め、教育活動の多様な創意工夫によって、主体的に学習する態度を育てる
 3. 障がいのある仲間との交流を通して、互いに違いを認め合い、支え合う集団を育成する
 4. 生徒理解を通して、生徒・教職員相互のふれあいと信頼を深める
 5. うるおいのある学校環境づくりに努める
- 以上の5つにのっとり、教職員一同で安心・安全な学校づくりを進めてまいります。

学校行事

- 4月 入学式、始業式、部活動編成、発育測定、健康診断、全国学力・学習状況調査
- 5月 中間テスト、3年修学旅行、1年校内チームビルディング
- 6月 創立記念日、教育実習、期末テスト
- 7月 期末懇談、終業式、学力補充
- 8月 学力補充、始業式、防災訓練
- 9月 教育実習、授業公開、学校説明会、3年チャレンジテスト、文化祭
- 10月 生徒会選挙、中間テスト、体育大会
- 11月 芸術鑑賞、1年校外学習、2年職場体験、進路相談、期末テスト
- 12月 期末懇談、進路相談、終業式
- 1月 始業式、1、2年チャレンジテスト、新入生オリエンテーション、百人一首大会、進路相談、新入生保護者説明会
- 2月 2年校外学習
- 3月 学年末テスト、卒業式、修了式

学校協議会会長メッセージ

今年度、学校協議会会長として、学校目標に向けて取り組んでまいります。皆様のご協力をいただき、健全育成にも努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

沿革

- 昭和42年3月 第1期校舎完成
- 昭和42年5月 大阪市立我孫子中学校の分校として発足
- 昭和43年3月 第2期校舎完成
- 昭和44年4月 第3期校舎完成
- 昭和47年5月 第4期校舎完成
- 昭和48年4月 大阪市立東我孫子中学校開校
- 昭和49年6月 体育館兼講堂完成
- 昭和49年9月 第5期校舎完成
- 昭和57年6月 創立10周年記念式典
- 平成4年11月 創立20周年記念式典
- 平成14年11月 創立30周年記念式典
- 平成24年11月 創立40周年記念式典
- 令和4年2月 体育館空調設備完成 運動場整地作業完成
- 令和4年11月 創立50周年記念式典

部活動

- 【運動部（8）】
 - サッカー部（男（女））・ソフトテニス部（女）・卓球部（男女）
 - ハンドボール部（男）・バスケットボール部（女）
 - バレーボール部（女）・野球部（男（女））・陸上競技部（男女）
- 【文化部（4）】
 - 美術部・家庭科部・技術工作部・吹奏楽部

▶▶ 運営に関する計画

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 校内アンケートにおいて、次の各項目について、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と肯定的に回答する生徒の割合を、次の数値を目標として取り組む。
 - ・「学校のきまり、規則を守っている」 95%以上
 - ・「自分にはよいところがあると思う」 75%以上
 - ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」 98%以上
 - ・「人が困っているときは、進んで助けている」 90%以上
- 校内アンケートを活用し、いじめ事案の発生に素早く対応し、「解決していないいじめ事案」をゼロにする。
- 暴力行為（体罰、暴言も含む）を起こさない学校づくりを進める。
- 生徒への柔軟な対応のもとに、不登校生の割合を全体の10%以下をめざす。
- 定期（年2回以上）の避難訓練や防災訓練を通して防災意識を毎年高め、地域とともに歩む防災・減災計画に参画する。
- 3年間の系統立てたキャリア教育を工夫・推進し生徒の適切な進路選択を指導する。「将来の夢や目標を持っている」「自分の将来のこと（進路）や生き方について考えている」について肯定的に回答する生徒の割合を70%以上にする。
- 生徒一人ひとり、とりわけ支援を要する生徒の情報交換を密にし、インクルーシブ教育の教職員全体の共通認識と理解を充実させ、個に応じた指導を組織的に行い、進路や自立に結びつける。
- 学校図書館教育の充実をはかり、図書館活用率（開館日あたりの利用者数）を前年度より向上させる。
- 「特別の教科・道徳」の授業と評価の充実をめざす。
- 学校生活を意欲的に過ごす生徒を増やす。積極的に挨拶を行う生徒の割合を90%以上にする。
- 芸術や伝統文化等に複数回触れ、体験することによって生徒一人ひとりの豊かな感性を磨く。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 校内アンケートの結果において、次の各項目について、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と肯定的に回答する生徒の割合を、次の数値を目標として取り組む。
 - ・「自分で計画を立てて勉強をしている」 65%以上
 - ・「朝食を毎日たべている」 90%以上
 - ・「家庭学習（宿題、予習、復習）をしている」 70%以上
 - ・「毎日同じ位の時間に寝ている、起きている」 80%以上
 - ・「授業の内容はよくわかる」「授業は楽しい」 80%以上
 - ・「体力に自信がある」 60%以上
- 長座体前屈、50m走において、各自記録を向上させる。
- 情報環境の整備に努め、一人一台端末の積極的活用を図り、生徒の学習意欲向上に繋げる。
- 理数教育においては、課題発見・解決力、論理的思考能力の育成を図る。
- 卒業時に45%以上の生徒が英検3級程度以上の英語力を有するように小中連携した英語教育を進める。
- 生徒一人ひとりが健康と食育に対し高い意識を持ち、健康の保持増進について考える力の育成をはかる。

【学びを支える教育環境の充実】

- ICTの活用に関する目標
 - ・年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える生徒の割合を、85%以上にする。
 - ・デジタル教材を活用した学習（家庭学習を含む）を、週1回以上実施する。
- 教職員の働き方改革に関する目標
 - ・年次休暇を10日以上取得する教職員の割合を20%以上にする。
 - ・ゆとりの日を月1回設定し、実施する。
 - ・「直近2〜6か月の時間外勤務の平均が月80時間を超えない」を満たす教職員の割合を60%以上にする。
 - ・時間外勤務が月100時間を超える教職員を0人にする。

▶▶ 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状（調査対象：令和7年度の中学3年生）

【平均正答率（%）】

国語	数学	理科
46	43	453

※理科については平均IRTスコアを掲載

全国学力・学習状況調査の結果を全国の平均正答率（%）と比較すると、国語（－8.3）、数学（－5.3）、大阪市平均と比較すると、国語（－6.0）、数学（－3.0）となっており、両教科とも下回った。無回答率（%）においては、全国平均と比較すると、国語（＋4.4）、数学（＋5.6）、大阪市平均と比較すると、国語（＋4.3）、数学（＋5）となっており、両教科とも高い無回答率となった。生徒質問紙の結果においては、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に最も肯定的な回答をした生徒は全国平均より高かった。一方、「朝食を毎日食べていますか」「自分にはよいところがあると思いますか」「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」は全国平均を下回っており、特に、「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」については、全くしないと回答した生徒が約60%おり、学習習慣・読書習慣に大きな課題がある。

▶▶ 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（調査対象：令和7年度の中学2年生）

【種目別平均値】

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	持久走(秒)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点(点)
男子	26.88	32.05	40.13	56.11		88.07	7.87	198.48	23.92	45.92
女子	21.53	23.28	42.51	49.74		61.72	8.49	169.93	13.65	51.25

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を全国平均と比較すると、男女ともに上回ったものが6種目、下回ったものが2種目であった。体力合計点は男子が＋3.72、女子が＋3.67であり、全国平均を大きく上回る結果となっており、体育の授業をはじめ運動の成果が上がっていると思われる。種目別に見ると、下回ったのは男女とも握力と長座体前屈で、筋力と柔軟性に課題がみられた。